

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	漁港漁場整備課	氏名	長里晃平
派遣先 団体名	松江市宍道公民館		

① 研修の日時
平成30年7月19日（木）～20日（金）、23日（月）～25日（水）

② 研修の内容（できるだけ詳しく記載してください。）
7月19日～20日
・瑞風の出迎え
・公民館と宍道地区社会福祉協議会らとの協議への出席
・事務作業の補助
・サマーキャンプの計画、準備
7月23日～25日
・サマーキャンプの補助（プログラム進行の管理等）

③ 研修の感想
（研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想（研修前後における意識の変化）等について記入してください。）

宍道公民館で5日間研修させていただいたのですが、まず印象に残ったのは住民や地域の団体との接点が非常に密接なことでした。

宍道駅での瑞風の出迎えをはじめ、公民館の事業は、地域住民と一体となって行っており、また地域の団体の方々も、自主的に公民館施設を利用して健康や福祉等に関する様々な活動・サークルを行っており、公民館がとても賑わっていました。

公民館職員の方々も住民に対して、親身になって対応されている姿も印象的でした。

研修の中心的な内容は、宍道公民館と宍道町青少年育成協議会主催のサマーキャンプトライアルの準備および運営補助でしたが、このキャンプをとおして地域の町づくりに参加する意義や地域での子どもの育成の重要性を学びました。

このキャンプは、あえてプログラムを細かく決めず、「自由作戦」と称して子どもたちが自由に活動を考えて行動する時間を多くとることで、子どもたちが「気づき・考え・行動する力」を育み、自主性を育むことを目的としていました。

遊びや宍道の町について精通している公民館職員らのスタッフが、遊びながら、子どもに自主性や協調性



公民館裏の山に登りハンモックづくり

を身につけられるよう指導をしていました。

子どもたちにとって、学校では教わらない遊びや町のことを学ぶ場となり、また、地域の方々と接点を持つことのできる有意義な活動となったと思います。

私自身も、地域の子どもたちや、地域で活躍されているスタッフと交流したことで、普段見ることのできない地域の教育の現場を知ることができました。また、そういった活動に参加することで、地域の一員となる楽しさを感じることができました。



スタッフに指導を受けながらの工作

短い期間ではありましたが、普段の業務とは異なる分野や、県民と直接接する現場を学べたことは貴重な経験となりました。

また、個人としても今後もっと地域に関わっていこうと積極的になることができた有意義な研修となりました。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成31年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。